## 学生調査について

- 学生から見た各大学の教育の姿を可視化する大規模調査は初の試み-

概要

- 国が全国共通項目で、学びの主体である学生目線から大学教育や学びに関する調査を行う。
- 全大学の学部生対象に、在学中の学びの実態、身に付けた力、学習経験などについて網羅的に状況を把握。
- 大学が自ら教育改革に取り組み、**社会が理解しやすいような形で公表**し、学生の声を大学進学を目指す若者に届ける。

## 背累

- 大学教育に対する国民の満足度は低い(日本の学生は勉強していない、大学は学生を育てていない等)。
- 学生がどのような能力を身に付けているかについて、社会に対する説明や情報公表が不十分。
- 特に、18歳人口が減少する中、学修者本位の教育への転換が一層問われるが、各大学が学びの主体である学生目線からの学びの状況を把握し、社会に対する発信が課題。

### 目的

- 全国的な学生調査により、**学修の主体である学生の目線から大** 学の教育力の発揮の実態を把握。
- 大学進学希望者など社会が理解しやすいよう、調査結果を原則 大学・学部毎に公表。
- 調査結果を踏まえ各大学が自ら教育改善を行う。
- 学生の目線から大学教育の実態を把握することで、国における **今後の政策立案の際のエビデンスとしても活用**。

### 学生調査(実施イメージ)

### 【調査対象】

学部3年生(6年課程は4年生)

#### 【調査方法】

• Web (スマホ等) によるアンケート調査

#### 【調査項目(20~30問)】

- 大学での授業や経験
- 大学教育で身に付けた能力
- 学習時間
- 大学での授業形態

### 【調査結果】

- 原則、大学・学部の集計結果を公表
- 各大学に自大学の個表をフィードバック

文部科学省

文部科学省



国立教育政策研究所



調査結果の公表

⇒学生目線の学びの状況把握



✓ 学生調査の企画実施



- ✓ 回答フォーム(WEB)の構築
- ✓ 回答結果の集計
- ✓ 大学への調査結果の送付 等

教育内容等の改善 ⇒学修者本位の教育への転換



- / 自らの学修を振り返る
- ✓ アンケート調査に回答



高校生・保護者

学生目線の進路選択

●信頼、応接





● ベンチマーク、教育改善

※令和元年度は一部の大学を対象に試行調査を実施

# 全国学生調查2019

学生向けチラシ イメージ

みなさんの声を高校生・社会に届けてください。

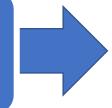


学生みなさんの大学での学びの状況を教えてください。 みなさん一人一人の回答が我が国の大学教育を良くします。

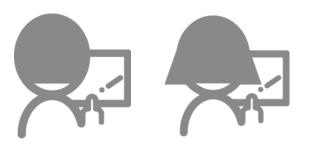
## 調査 目的

- ●学びの主体である学生の目線から大学の教育力の発揮の実態を把握します。
- ●高校生などが理解しやすいよう、調査結果を大学・学部毎に公表します。
- ●各大学は、調査結果を踏まえ自ら教育改善を行い、より良い教育を目指します。
- ●学生の目線から大学教育の実態を把握することで、国における今後の**政策立案の際の** エビデンスとしても活用します。
- 学生から見た大学教育の姿を可視化する大規模調査は**初の試み**-

大学教育の 主役は学生 学生の声が 大学を変える 未来で学ぶ 後輩のため







学部3年生対象」

アンケート 回答期間

令和元年 ○/○(○) ⇒ ○/○(○)

# 調査 方法

●スマートフォンやPCからURLやQRコードにアクセスしてください。

 $(URL:\cdot\cdot\cdot)$ 

- ●質問は○問あります。○分程度で回答できます。
- ●質問内容は裏面にあります。回答時に参考にしてください。

QRコード

### (注釈)

- 調査目的の範囲を超えて使用したり、本人の同意を得ずに第三者に対して提供することはありません。
- 回答内容について個人を特定できる形式で公表することは決してありません。また、個人の回答内容に よってその個人が不利益を受けることは一切ありません。

※裏面を参考に学生調査へ回答をお願いします!

# 質問項目

## 回答の際は、この用紙を見ながら回答すると効率的です!



## 基本情報

問1 大学名:大学毎のURL・QRコードのため自動入力されます。

問2 学部名:あなたの在籍する学部を選択してください。

# 大学での授業・学修等について

問3 授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間について、当 てはまる時間数を選択してください。

	0 時 間	1-2 時 間	3-5 時 間	6- 10 時間	11- 15 時 間	16- 20 時 間	21- 25 時 間	26- 30 時 間	31 時間以上
大学の授業 (実験・実 習含む) への出席	1	2	3	4	5	6	7	8	9
予習・復習など大学の 授業に関する学習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	6	7	8	9
大学の授業以外の学習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
部活動・サークル活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9
アルバイト・定職	1	2	3	4	5	6	7	8	9
就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問4 これまでに受けた授業の形態について、全体が10割(足して10割)になるようお答えください。

大講義 (出席者数100 人以上)	中講義 (出席者数50- 100人)	小講義 (出席者数50 人未満)	演習・ゼミ	実験・実習
割	割	割	割	割

問5 これまでに受けた授業では、次の項目はどれくらいありましたか。 それぞれの項目について該当するものを選択してください。

	ほとん どな かった	あまりな かった	ある程度 あった	よく あった
授業内容の意義や必要性を十分に説 明してくれた。	1	2	3	4
理解がしやすいように教え方が工夫 されていた。	1	2	3	4
TA(ティーチング・アシスタント) などによる補助的な指導があった。	1	2	3	4
小テストやレポートなどの中間課題 が出された。	1	2	3	4
適切なコメントが付されて課題など の提出物が返却された。	1	2	3	4
グループワークやディスカッション など、学生が主体となって学ぶ機会 があった。	1	2	3	4
教員に質問したり、個別の指導を受 ける機会があった。	1	2	3	4
主に英語で行われる授業(語学は除 く)	1	2	3	4



スマホでGo! (回答は○分)

問6 大学に入ってから次のような経験はありましたか、その経験は有用でしたか。それぞれの項目について該当するものを選択してください。

	経験し ていな い	有用では なかった	有用だっ た	非常に 有用 だった
大学での勉強の方法(スタディ・ス キル)を学ぶ科目	1	2	3	4
研究室やゼミでの少人数教育	1	2	3	4
キャリアに関する科目、キャリアカ ウンセリング(就職や進学相談)	1	2	3	4
インターンシップ(5日以上のも の)	1	2	3	4
海外留学(4か月以上のもの)	1	2	3	4
図書館やアクティブラーニングス ペースを活用した学習	1	2	3	4

問7 大学教育を通じて、次の知識や能力が身に付いたと思いますか。 それぞれの項目について該当するものを選択してください。

	全く身 に付い ていな い	あまり身 に付いて いない	少し身に 付いた	とても 身に付 いた
専門分野に関する知識・理解	1	2	3	4
将来の仕事に関連しうる知識・技能	1	2	3	4
異なる文化に関する知識・理解	1	2	3	4
文献・資料・データを収集する力	1	2	3	4
論理的に文章を書く力	1	2	3	4
人に分かりやすく話す力	1	2	3	4
外国語の力	1	2	3	4
ものごとを分析的・批判的に考える カ	1	2	3	4
問題を見つけ、解決方法を考える力	1	2	3	4
多様な人々と協働する力	1	2	3	4
幅広い知識、ものの見方	1	2	3	4

問8 大学での学びについて、ご意見などがあれば自由に記載してください。(自由記述)